

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人 まこと

○法人本部

○特別養護老人ホーム しあわせの家

○地域密着型特別養護老人ホーム しあわせの家寒川

○ショートステイ しあわせの家

○ショートステイ しあわせの家寒川

○デイサービスセンター しあわせの家

○デイサービスセンター しあわせの家寒川

○居宅介護支援事業所 しあわせの家

社会福祉法人まこと 法人本部

令和6年度 事業報告書

1. 令和6年度の重点取組評価

(1) 安定した経営の維持

各事業所の稼働率の向上による収入増加については事業所間で差が出る結果となりました。(※詳細は各事業所評価参照)業務改善並びに効率的なマンパワーの活用に関しては、各事業所が常に改善の意識を持って業務改善に取り組み様々な見直しを行いましたが、効率的なマンパワーの活用に関しては人員確保が困難な中で一部に偏りがあったと評価します。ホームページの更改については年度初めに実施することができ、以降は法人の戦略ツールとしてブログでの事業所情報の発信等、有効に活用できていると評価します。各種支援・補助制度の活用については、豊岡特養のベッド80台を入れ替えるにあたっての介護テクノロジー定着支援事業補助金、トライアル雇用助成金等を申請し活用する等、もれなく対応することができました。また、新規事業の安定経営に向けたバックアップ並びに令和6年度介護報酬改定に適切に対応できるためのバックアップについては、本部として後方支援を行うことができました。安定した経営の維持に向けて様々な施策は講じてきましたが、それが成果に直結するまでには至っていないと評価しています。今後も本取組は継続するとともに、本部として各事業所の施策に対して必要に応じて介入していきたいと考えます。

(2) 組織力の向上

統治機能を高めていくためには役職者の成長が必要不可欠になります。そのためには、組織論に関して共通の理解を持ち、それに沿った行動ができるようになることや、適切な情報管理ができるようになることが求められますが、現状においてはいずれも更なる成長に向けて法人としての人材育成教育施策や個人の努力が必要な状況であると評価しています。また、中核を担う人材を外部研修に派遣するといった取り組みは実践できましたが、すぐに成果がでるものではありませんので、中長期的な計画を持って中核を担う人材の育成教育に取り組む必要があります。法人の永続的な発展においては、組織力の向上が重要となってきますので、本取組は今後も継続していくべきであると考えます。

(3) 人材確保

職員の労働環境に繋がる施策は継続して実施できているものの、新卒者の採用については課題であると評価しています。業界全体の人材不足は深刻であり非常に厳しい状況となっている中で、法人として魅力を高めるための一環として今年度はひめボス宣言事業所に申請し認証を得ましたが、更に働きやすい魅力ある職場を創ることに取り組んでいきたいと考えます。

(5) 労働環境の整備

宿直廃止、オンコール業務委託といった業務改善や豊岡特養においては見守りセンサー機能付きベッドの導入等、職員の負担軽減に繋がる施策を実践することができました。また、職場環境改善アンケート等による職員の声も必要に応じて環境整備に反映させるなどすることもできました。労働環境の整備は常に意識して取り組むべきことでありますので、今後も継続していきたいと考えます。

2. 実施事業評価

各事業所の事業報告書参照

3. 職員配置結果評価

事業計画の通り配置することができました。

4. 年間行事・各種会議結果評価

事業計画の通りに実施することができました。

尚、職場環境改善アンケートについては来年度より6月に実施することとしました。

5. その他、運営結果報告

4月	○入職式を開催しました。 ○各拠点事業場において事業計画説明会を開催しました。 ○シルバー人材センターと委託契約(本年度及び前年度変更分)を締結しました。 ○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛媛支部へ障がい者雇用給付金制度に基づく、令和5年度障がい者雇用納付金の申告を行いました。 ○ホームページをリニューアルしました。 ○処遇改善支援補助金に係る処遇改善計画書を作成し申請しました。
5月	○監事監査を実施しました。
6月	○理事会及び評議員会を実施しました。 ○物故者供養祭を開催しました。 ○愛媛県へ令和5年度決算報告を行うとともに、同年度の収支計算関連書類を伊予三島税務署、資産総額変更申請書を松山地方法務局へ提出しました。
7月	○四国中央市防災まちづくり推進課より指定福祉避難所開設時に使用する物品(アルコールディスペンサー及びサーモゲートを各10個)を受領したため事業所に配布しました。 ○令和5年度介護職員処遇改善加算等の実績報告書を愛媛県に提出しました。 ○令和7年3月卒業予定の高校(4校)に訪問し、求人票を配布しました。 ○令和7年3月卒業予定の大学及び専門学校へ求人票を送付しました。
8月	○新たなユニフォームの着用を開始しました。 ○寒川夏祭りへ豊岡及び寒川事業場の職員がボランティア参加し、フランクフルトをバザー出店品目として地域の方と交流ができ非常に有意義な時間となりました。 ○四国電力(株)と締結している電力需給契約が9月30日で満了するため新たな契約(10月1日から3年間)を締結しました。 ○あいおいニッセイ同和損害保険(株)と締結している法人所有の建物等の火災保険契約(9月2日から5年間)の更新手続きを行いました。 ○各拠点事業場において人事異動希望調査を実施しました。
9月	○愛媛県の最低賃金が令和6年10月より改定されることを受けて、給与規程並びに職員の臨時的任用等に関する規程の一部を見直しました。 ○特定技能実習生の追加雇用(1名)開始に伴い入職式を開催しました。 ○各拠点事業場において異動希望調査を実施しました。 ○食事委託業者(富士産業)と非常時における通所事業の食事提供について契約内容を見直しました。

10 月	○永年勤続表彰式を開催しました。 ○各拠点事業場においてストレスチェックを実施しました。 ○各拠点事業場において職員満足度アンケートを実施しました。 ○各拠点事業場において職場環境改善アンケートを実施しました。 ○節水対策として「次世代節水器具 (JET)」を導入 (レンタル) することとし、豊岡事業場 5 個、寒川事業場 7 個を設置しました。 ○自家用電気工作物の保安管理業務を委託している(株)中央電気保安協会より委託契約の変更 (保安管理料の 11 月分からの値上げ) の申出があり了承しました。 ○行動計画を策定し、職員に周知しました。 ○ひめボス宣言事業所認証制度へ申請し、承認されました。
11 月	○特定技能実習生の追加雇用 (1 名) 開始に伴い入職式を開催しました。 ○各拠点事業場において 11 月末をもって宿直業務を廃止しました。又、同業務の廃止に伴い施設の施錠時間を従来の 19 時から 17 時 30 分に変更しました。 ○物価高騰 (光熱水費・燃料費等) の中、給食委託業者より食材費の高騰による値上げ要求があったことを受けて食材費高騰対策として令和 7 年 1 月よりおやつ提供について特養・ショート事業については廃止、通所介護事業は継続、又、同月より食費を改定することとしました。尚、デイサービスセンターしあわせの家寒川の利用者増加を受け、12 月からの管理費の値上げを了承することとしました。 ○来年度より、職員満足度調査を中止し元来 8 月に実施していた異動希望調査を 12 月に実施、10 月に実施していた職場環境改善アンケートについては 6 月に実施することとしました。又、顧客満足度調査については年 2 回 (6 月・12 月) 実施していましたが、年 1 回 (9 月) の実施とすることになりました。
12 月	○育豊祭へ豊岡及び寒川事業場の職員が参加しました。 ○各拠点事業場における特養 (短期併設) 事業所におけるオンコール業務を外部委託とする運用を開始しました。 ○豊岡及び寒川事業所における当番制度を見直し、従来の任意職員業務より正規職員に対する業務命令としての運用へ変更しました。
1 月	○育豊祭へ豊岡及び寒川事業場の職員が参加しました。 ○各拠点事業場における特養 (短期併設) 事業所におけるオンコール業務を外部委託とする運用を開始しました。 ○豊岡及び寒川の特養事業所における当番制度を見直し、従来の任意職員業務より正規職員に対する業務命令としての運用へ変更しました。
2 月	○四国中央市税務課に令和 6 年の寄付者名簿を提出しました。 ○新居浜労働基準監督署への定期書類 (ストレスチェック結果及び定期健康診断結果) を提出しました。
3 月	○料金後納郵便について郵便局との手続きが完了したので、2 月より運用を開始することとしました。

特別養護老人ホーム しあわせの家

令和6年度事業報告書

1. 令和6年度の重点取組評価

(1) 組織力の向上

情報管理システムは構築しましたが、システムを運用する上で重要となる価値基準統一といった点を更に高める必要があると評価します。また、組織を理解した行動における「確認」という行動を更に徹底していくことが必要な状態であると評価します。尚、教育システムにおいては、入職時研修に使用する研修資料を標準化する等の見直しができましたが、今後はこのシステムを適切に運用していくことが重要です。いずれにしても中核を担う人材の成長無くして組織力の向上はありませんので、中長期的な取組として継続するべきであると考えています。

(2) 働きやすい職場環境の整備

生産性向上に向けた様々な施策を検討し「宿直員の廃止」「オンコールの外部委託」「当番制度の見直し」といったことを実践することができました。また、介護ロボットの導入においては、補助制度を活用して本館ベッド80台の入れ替えを実施することができました。その他にも、職員個々の状況に応じた働き方を支援する等、働きやすい職場環境の整備に向けた一定の実践ができたと評価しています。介護業界の人材不足が社会問題となる中で求職者から選ばれるようになるためにも、更に働きやすい職場環境の整備に向けて取り組んでいく必要があると考えています。

(3) サービスの質の向上

介護報酬改定に位置付けられた様々な対応については適切に実施することができていますので、その点においては一定の質の向上につながっていると評価しています。その中でも口腔ケアにおいては協力病院の口腔ケアチームと連携を図るなどの実践を行うこともできました。今後は協力医療機関とのより具体的な連携体制並びに緊急時対応方法を確立させていくことが必要であると考えています。

(4) 安定した運営

介護・看護の連携によるご利用者の体調管理が適切に行えたこと並びに相談援助部による入院先の医療機関との密な連携等によって入院日数を抑えることに繋がっていると評価しますが、安定した運営を継続するために必要となる業務改善と効率的なマンパワーの活用においては更なる改善が必要であると考えています。

2. 目標稼働率評価

96%

$(100 \text{ 床} \times 365 \text{ 日} - \text{入院日数} \cdot \text{外泊日数} \cdot \text{退所} \Rightarrow \text{入所間の空床日数}) \div (100 \times 365)$

上記目標を掲げていましたが、令和6年度の実績は以下の通りです。

94.8%

目標に1.2%届かない結果となりました。退所から入所までに要した日数が632日(37件の退所)となり、前年度296日(32件の退所)と比較すると1件あたりに要する日数が7日増えたことが大きな要因となります。尚、入院者数については、前年度より78日増加しましたが、12月に267日の入院者が発生したことが影響したものであり、他の月については同水準で推移したことは関係職種との連携による成果であると考えています。新規入所においては、各関係機関との調整等、状況によっては時間を要する場合がありますが、事前の準備を含めより一層迅速な対応に努めていきたいと考えています。

3. 施設行事実施結果評価

* 夏の花火大会については悪天候によりご利用者のみの花火観賞としました。また、年末には新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により餅つき大会をはじめとする年末年始行事を中止することとなりましたが、それ以外は概ね事業計画通り実施することができました。

4. 職員配置結果評価

* 年度末での職員の配置状況は以下の通りです。計画通りに配置することができました。

	計画 (常勤換算)	年度末現在 (常勤換算)
施設長	1名	1名
副施設長	1名	1名
介護職員	43名以上	46.2名(育児休業中1名)
看護職員	5名以上	5.8名
生活相談員	2名以上	2名
介護支援専門員	1名以上	1名
機能訓練指導員	1名以上	1名
医師(嘱託)	非常勤5名以上	非常勤5名
管理栄養士	1名以上	2名
事務職員	1名以上	1名

令和6年度の入退職状況は、新規雇用者8名(介護職員(常勤5名、非常勤1名)看護職員(常勤1名)その他(非常勤1名))退職者8名(介護職(常勤5名、非常勤1名)看護職員(非常勤1名)その他(非常勤1名))でした。

5. 各種委員会・職員会議結果評価

* 概ね事業計画の通り開催する事ができました。

6. 各種研修会結果評価

* 一部研修内容や開催日時の予定を変更して対応することがありましたが、必須研修の開催を含めて施設内研修については実施することができました。外部研修にも多数の職員を参加させることができました。総合的には職員のスキルアップに繋がる効果的な研修を実施することができたと評価しています。

7. その他、運営結果評価（併設ショート含む）

4 月	○四国中央市から依頼のあったふれあい相談員受け入れに関する書類を提出しました。 ○厚生労働省より N95 マスクを受領しました。
5 月	○夜間火災を想定した消防訓練を実施しました。又、四国中央消防本部による消防設備等の査察を受けました。(指摘事項はありませんでした。) ○四国中央市長寿支援課より、「認知症高齢者みんなで探そや！ネットワーク」への協力機関の登録依頼があり登録しました。 ○事故発生の状況把握並びに分析のために見守りカメラを増台しました。 ○清掃職員の職場実習を受け入れました。 ○浴槽水の水質検査を行いました。(指摘事項はありませんでした。)
6 月	○顧客満足度調査(上半期)を行いました。 ○冬布団から夏布団への寝具交換を実施しました。
7 月	○三島南中学校の職場体験を受け入れました。
8 月	○家族の集いを開催しました。 ○寄付の申し出があり、経理規程に沿って寄付金受付処理を行いました。 ○愛媛県介護テクノロジー定着支援事業補助金(ベッド 80 台)の公募に応募しました。 ○特定建築物(防火設備)点検を行い、口頭にて問題なしとの報告がありました。
9 月	○敬老会及び国及び愛媛県からの高齢者表彰式を開催しました。 ○花火鑑賞を実施しました。(例年 8 月に行っていた花火大会は、市内の状況や施設内の状況を考慮し花火鑑賞として実施することとしました。)
10 月	○愛媛県介護雇用プログラム推進事業対象者として介護職 1 名(男性)を受け入れました。 ○衆議院議員選挙及び最高裁判所審査について施設内にて不在者投票を行いました。 ○夏布団から冬布団への寝具交換を実施しました。 ○技能実習生の実習評価試験が対象者 3 名に対して実施されました。
11 月	○新居浜市長及び四国中央市議会議員の各選挙について施設内にて不在者投票を行いました。 ○日中火災を想定した消防訓練を実施しました。 ○東予老施協が主催する「介護職員研修会」を開催施設として実施しました。 ○豊岡事業場の宿直廃止に伴うセキュリティー対策として職員出入口の扉施錠自動ロック化工事を行いました。 ○浴槽水の水質検査を行いました。(指摘事項はありませんでした。)
12 月	○もちつき大会の開催を予定していましたが、施設内コロナ感染対策のため中止としました。 ○顧客満足度調査(下半期)を行いました。 ○インフルエンザ予防接種(入所者及び職員)及び新型コロナワクチン接種(入所者のみ)を実施しました。(10 月～12 月) ○人材開発支援助成金の支給決定通知書が愛媛県労働局から届きました。
1 月	○12 月 20 日から入所(利用)者及び職員の新型コロナウイルス罹患(計 55 名)が発生しました。(1 月 15 日終息と判断しました) ○介護テクノロジー定着支援事業補助金を利用し、本館ベッド 80 台を購入(入替)しました。
2 月	○軽車両(スズキ・エブリイワゴン)が納車されました。
3 月	○貯水槽の清掃を実施しました。

地域密着型特別養護老人ホーム しあわせの家寒川

令和6年度 事業報告書

1. 令和6年度の重点取組評価

(1) 組織総合力の強化

組織体制の確立に必要不可欠であるビジョン（理念・方針）の浸透については様々な場面での啓発活動を継続することで更に理解が深まっていると評価していますが、これについては永続的に取り組んでいかなければならないテーマであると考えています。また、ガバナンス（統治）の強化については、役職者の自覚とスタッフの理解によって事業所内の指揮命令系統に沿った行動が更に徹底できるようになり、風通しの良い組織体制へと繋がっていると評価しています。課題としていた「ボトムアップ」の場面が増えることについてはまだ十分ではないと考えていますので、その機会を増やすことができるような働きかけを行っていきたいと考えています。

(2) 働きやすい職場環境の整備

定例会議を行い生産性向上並びに職員の負担軽減に資する施策について検討して実践することができました。また、職場環境改善に向けた職員の声を聴取して対応する等、働きやすい職場環境の整備については実践できていると評価します。しかし、介護人材の確保が非常に厳しい社会情勢の中で、選ばれる事業所となるためにも更なる働きやすさを追求していく必要があると考えています。

(3) サービスの質の向上（顧客ニーズを踏まえた個別対応力の向上）

ご利用者ひとり一人の個性を尊重した支援を実践できるようにユニットケアの理解を深め実践することを継続的に取り組んできましたが、スタッフ全体のスキルアップは一朝一夕に成しうるものではありませんので今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。その成果指標としては、将来ユニットケアの先進施設として認められるということを位置付けていきたいとも考えています。

(4) サービスの質の向上（介護報酬改定への適切な対応）

介護報酬改定に位置付けられた様々な対応については適切に実施することができています。特に口腔ケアにおいては協力歯科医院の積極的な協力もあり、歯科医師・看護職員・介護職員の密な連携を図ることで非常に充実していると評価しています。今後は協力医療機関とのより具体的な連携体制並びに緊急時対応方法を確認させていくことが必要であると考えています。

2. 目標稼働率評価

96%

$(29 \text{ 床} \times 365 \text{ 日} - \text{入院日数} \cdot \text{外泊日数} \cdot \text{退所} \Rightarrow \text{入居間の空床日数}) \div (29 \times 365)$

上記目標を掲げていましたが、令和6年度の実績は以下の通りです。

93.8%

目標を2.2%下回る厳しい結果となりました。年間入院日数が前年度比144日増加したことに加え、年間退居者数の倍増に伴い、退居による空床日数が71日増加したことが要因となります。入居者の高齢化に伴い、やむを得ない空床は防ぎようのないことではありますが、より一層健康管理に留意し入院者の発生を最小限に抑えるとともに、早期対応によって入院期間の短縮に繋げていきたいと思っております。また、新規入居においては、各関係機関との調整等に時間を要す場合もありますが、より一層迅速な受け入れに努めていきたいと考えています。

3. 施設行事实施結果評価

*計画していた施設行事については、概ね事業計画の通り開催することができました。尚、8月に開催予定であった夕涼み会については諸般の事情により中止し新たなイベントとして11月に通所介護事業と合同で文化祭を開催しご利用者の皆さんに楽しんでいただくことができました。今後も継続する予定です。

4. 職員配置結果評価

*年度末での職員配置状況は以下の通りです。計画通りに配置ができました。

	計画 (常勤換算)	年度末現在 (常勤換算)
施設長	1名	1名
統括長	1名	1名
介護職員	20名以上	23名(育児休業中1名)
看護職員	2名以上	3名(常勤2名・非常勤名2)
生活相談員	1名以上	2名(兼務1名)
介護支援専門員	1名以上	2名(兼務1名)
機能訓練指導員	1名	1名(兼務1名)
管理栄養士	1名	1名
医師(嘱託)	非常勤2名	非常勤2名
事務職員	1名	1名

令和6年度の入退職状況は、新規雇用者1名(看護職員(非常勤1名))退職者1名(看護職員(常勤1名))でした。

5. 各種委員会・職員会議結果評価

*概ね事業計画の通り実施できました。

6. 各種研修会結果評価

* 一部研修内容を予定変更して対応することがありましたが、義務付けられている必須研修の開催を含めて施設内研修については計画通りに実施することができました。外部研修にも参加することができましたが、頻度は多くなったことから頻度を増やしたいと考えています。総合的には職員のスキルアップに繋がる効果的な研修を実施することができたと評価しています。

7. その他、運営結果報告

4 月	○四国中央市から依頼のあったふれあい相談員受け入れに関する書類を提出しました。 ○厚生労働省よりN95 マスクを受領しました。
5 月	○夜間火災を想定した消防訓練を実施しました。又、四国中央消防本部による消防設備等の査察を受けました。(指摘事項はありませんでした。) ○四国中央市長寿支援課より、「認知症高齢者みんなで探そや！ネットワーク」への協力機関の登録依頼があり登録しました。 ○監事監査を実施しました。
6 月	○顧客満足度調査(上半期)を行いました。 ○新居浜の特養施設より施設見学を受け入れました。 ○冬布団から夏布団への寝具交換を実施しました。
9 月	○国及び愛媛県からの高齢者表彰式を開催しました。又、四国中央市からの高齢者表彰対象者に対する記念品・表彰状を授与しました。 ○電気設備年次点検を行いました。
10 月	○インフルエンザ予防接種(含む職員)及び新型コロナワクチン接種を実施しました。 ○夏布団から冬布団への寝具交換を実施しました。
11 月	○日中火災を想定した消防訓練を実施しました。 ○インフルエンザ予防接種(含む職員)及び新型コロナワクチン接種(入所者のみ)を実施しました。 ○しあわせの家寒川文化祭を開催しました。 ○デイサービス開設に伴い、特養・ショートのご利用者がカラオケ機器を使用する機会が制限されていることに伴い、新たにカラオケ機器を導入しました。 ○事業場で所有する公用車の台数が増えたことから安全運転管理者の選任が求められることとなったため、安全運転管理者を選任し申請しました。
12 月	○顧客満足度調査(下半期)を行いました。 ○事業所災害訓練の一環としてシェイクアウトえひめ(県民総ぐるみ地震防災訓練)に参加しました。
1 月	○対象者全ての人事考課が終了しました。
2 月	○来年度より、「DM-study ライト」を導入し、法定研修の受講はオンラインとすることとしました。
3 月	○空調設備(GHP)のコンプレッサーを交換しました。 ○貯水槽の清掃を実施しました。

ショートステイ しあわせの家

令和6年度事業報告書

※「ショートステイしあわせの家」は、特別養護老人ホームしあわせの家の併設事業となる為、重複する部分については特別養護老人ホームしあわせの家の報告書をご参照お願い致します。

1. 令和6年度の重点取組評価

- (1) 組織力の向上
- (2) 働きやすい職場環境の整備
- (3) サービスの質の向上

上記(1)～(3)については、特別養護老人ホームしあわせの家事業報告書参照

(4) 安定した運営

居宅介護支援事業所の介護支援専門員との関係構築については、深める事ができていましたが、併設事業所の空床、長期利用者の入所切替、長期入院が重なり、急な対応に苦慮する等、安定した運営には至らなかったと評価します。尚、法人内事業所間での連携構築は更に高める事がきており、渉外担当者間の情報共有を行うことができるようになっていますので、今後も連携を図ることで安定した運営に繋げていきたいと考えています。

2. 目標稼働率評価

計画 全ての空床を含めた実総数に対して 85%

上記目標に対して、実績は以下の通りとなりました。

78.0%

目標に対して7%、前年度(80.5%)と比較しても2.5%下回る結果となりました。

これは、併設特養の空床数増加が影響しているものであり、利用者の総数は前年度比93名増加、定員に対する稼働率は前年度比96.7%から98.2%と1.5%増となっています。とはいえ、非常に厳しい結果であることは事実であり、その要因としては併設施設である特別養護老人ホームでの感染症クラスターの発生、長期利用者の方の施設への入所切替、入院が重なったことが要因の一つと考えていますが、ショートステイの利用ニーズの変化もあって急な空床への対応が難しい状況であるという現状もあります。このような状況下ではありますが、居宅介護支援事業所や法人内他事業所と更に連携を密にして、利用ニーズがあった場合には速やかに対応していきたいと考えています。

3. 施設行事結果評価

4. 職員配置結果評価

5. 各種委員会・職員会議結果評価

6. 各種研修会結果評価

7. その他、運営結果報告

上記3.～7.については、特別養護老人ホームしあわせの家の事業報告書をご参照ください。

ショートステイ しあわせの家寒川

令和6年度 事業報告書

※「ショートステイしあわせの家寒川」は、地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川の併設事業となる為、重複する部分については地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川事業報告書をご参照お願い致します。

1. 令和6年度の重点取組評価

- (1) 組織総合力の強化
- (2) 働きやすい職場環境の整備
- (3) サービスの質の向上（顧客ニーズを踏まえた個別対応力の向上）
- (4) サービスの質の向上（介護報酬改定への適切な対応）

※地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川の事業報告書参照

2. 目標稼働率評価

計画 定員に対して 90%

上記目標を掲げていましたが、令和6年度の実績は以下の通りとなりました。

95.2%

目標を5.2%上回り、前年度比14.8%増と、大幅な稼働率上昇となりました。担当者の積極的な利用推進及び居宅介護支援事業所との適切な連携、又、各部署の迅速な受け入れ態勢の確保を積み重ねた結果であると分析します。今後も、定員（11床）のみならず、空床利用を適切に判断するとともに、新規利用契約者増に向けて更なる努力を重ねたいと考えています。

3. 施設行事実施結果評価

4. 職員配置結果評価

5. 各種委員会・職員会議結果評価

6. 各種研修会結果評価

7. その他、運営結果報告

*上記3.～7.については、地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川の実業報告書をご参照ください。

デイサービスセンター しあわせの家

令和 6 年度事業報告書

1. 令和 6 年度の重点取組評価

(1) 組織力の向上

組織力の向上に向けて年度内に組織体制の見直しを実施する等の対応を行いましたが、その体制が浸透し機能するまでには至っていないと評価しています。尚、組織力を高めるための教育システムとして本年度より新人教育に使用する研修資料を整備し、入職時研修に活用することができるようになりました。このシステムにより法人理念・事業所基本方針等に関して所属職員の意識統一を行うことで組織力の向上に繋がっていきたいと考えています。

(2) 働きやすい職場環境の整備

毎月開催している運営会議において生産性向上・職員の負担軽減に向けた業務改善施策を検討し実践することができました。また、衛生委員会においては様々な職場環境改善に向けた検討を行い、職員への啓発活動に取り組むこともできました。介護業界にとって人材確保は喫緊の課題となっていますので、選ばれる事業所となるよう働きやすい職場環境の整備を引き続き実施していきたいと考えています。

(3) サービス内容の向上

ご利用者ニーズを適宜アセスメントして、そのニーズに応じた余暇活動・機能訓練の充実に向けてプログラムの種類を増やす等を行うことができました。また、入浴介助マニュアルを整備し職員に対する研修を実施することもできました。サービス内容の向上に一定の取り組みを実践することができましたが、これからは団塊の世代の方が顧客となりますので、更に多様なニーズに対応できるように更なる向上に取り組む必要があると考えています。

(4) 安定した運営

介護報酬改定に対しては適切に対応することができましたが、非常に厳しい運営状況でした。居宅介護事業所への PR 活動や法人内渉外担当者との連携にも取り組んできましたが十分な成果が出ていないと評価します。危機感を持って安定した運営に繋がる様々な施策を講じていきたいと考えています。

2. 目標稼働率評価

80% 32名/日

上記目標を掲げていましたが、令和 6 年度の実績は以下の通りとなりました。

54.7% 22名/日

非常に厳しい結果となりました。平均利用者数が 5 人減と 2 年連続の減少となっています。要因としては、ご利用者の重度化によるニーズ変化（施設入所・短期入所等）と新規利用者が少なかったことが考えられます。このような時こそ原点に戻り多様化のご利用者ニーズに対応できるサービスメニューを創造して利用者満足度を高めるとともに、渉外担当者による積極的な PR 活動に取り組んでいきたいと考えています。

3. 行事实施結果評価

概ね事業計画通りに実施することができました。尚、昨年より実施している夏祭りは今年も大盛況でしたので、今後も継続していきたいと考えています。また、事業計画に位置付けた行事以外にも、市民ボランティアセンターを活用して様々な団体に訪問していただくなどのイベントを実施することができました。今後ご利用者のニーズに応じたイベントを企画していきたいと考えています。

4. 職員配置結果評価

*年度末での職員の配置状況は以下の通りです。計画通りに配置することができました。

	計画 (常勤換算)	年度末現在 (常勤換算)
管理者	1名	1名
介護職員	8名以上	8.9名
看護職員	1名以上	1名
生活相談員	1名以上	4名(兼務3名)
機能訓練指導員	1名以上	1名
その他	0.5名	1名

令和6年度の入退職状況は、新規雇用者4名(介護職員(常勤2名・非常勤2名))
退職者2名(介護職(常勤1名・非常勤1名))でした。

5. 各種委員会・職員会議結果評価

概ね事業計画の通り開催する事ができました。

6. 各種研修会結果評価

一部予定を変更し他事業所と合同で研修会を開催することがありましたが、概ね事業計画の通りに開催することができました。尚、外部研修にも職員を参加させる事ができました。

7. その他、運営結果報告

5月	○夜間火災を想定した消防訓練を実施しました。又、四国中央消防本部による消防設備等の査察を受けました。(指摘事項はありませんでした。)
6月	○四国中央市市民ボランティア登録制度を活用して、実施要項に沿って市民ボランティア登録者紹介依頼書を四国中央市長に提出しました。 ○ご利用者に楽しんでいただくために、屋上を利用した植物栽培を行うこととしました。 ○顧客満足度調査(上半期)を行いました。

7 月	○三島南中学校の職場体験を受け入れました。
9 月	○組織変更(副主任を配置)し新しい体制をスタートさせました。 ○給茶機故障に伴い、寒川事業所でも導入している各種飲料水完備の新サーバーへの入れ替えを行いました。尚、現在水専用のウォーターサーバーのレンタル契約は解除しました。
10 月	○愛媛県介護雇用プログラム推進事業対象者として介護職 1 名(女性)を受け入れました。
11 月	○日中火災を想定した消防訓練を実施しました。
12 月	○顧客満足度調査(下半期)を行いました。 ○インフルエンザ予防接種(職員)を実施しました。(10 月～12 月)
1 月	○普通浴槽への出入りの際の安全対策として手摺を設置しました。
2 月	○PR 活動に利用者募集チラシを作成し市内各所へ設置していただきました。 ※スーパー、公民館等
3 月	○重要事項説明書から総合事業の回数料金を削除することとしました。 ○四国中央市人権擁護委員会協議会による高齢者施設等への訪問活動について、依頼がありましたので受け入れることとしました。

デイサービスセンター しあわせの家寒川

令和 6 年度事業報告書

1. 令和 6 年度の重点取組評価

(1) サービス基盤の整備

令和 6 年 4 月の新規事業開設であったことから初年度の重点取組をサービス基盤の整備として位置付け、基礎造りに邁進してきました。各種業務に関する標準化、個別性に応じたサービスメニューの創造といった具体的な実践はもとより、事業所の基本方針を職員間で共有・意識統一し、キーワードであるご利用者それぞれの「たのしみ」を一つでも多く感じていただける礎を整備できてきたと評価します。とはいえ、まだ事業は始まったばかりですので、この基礎を確固たるものにするにはまだ時間をかけるべきであると考えています。

2. 目標稼働率評価

40% 8名/日

上記目標を掲げていましたが、令和 6 年度の実績は以下の通りとなりました。

41.3% 8.3名/日

新規事業開設初年度の目標稼働率を 40%と設定することは非常にハードルの高い数字設定ではありましたが、目標達成に至りました。

開設後、右肩上がりで利用者数を増やし、3 月時点の利用者平均は 12.7 名 (63.5%) となっています。利用者の継続率及びお試し利用後の本契約率が高水準であり、担当者並びに現場スタッフが事業所の方針をしっかりと理解した上で、日々の個別性を尊重した利用者主体のケアを積み重ねた結果であると分析します。引き続き、地域の介護サービスの利用ニーズに応え、新規利用契約者増に向けて更なる努力を重ねたいと考えています。

3. 行事实施結果評価

概ね事業計画の通りに実施することができました。尚、事業計画に位置付けていない行事もご利用者の希望があれば可能な限り対応するとともに、ご利用者のたのしみに繋がる様々な企画を適宜実施することができました。

4. 職員配置結果評価

* 年度末での職員の配置状況は以下の通りです。計画通りに配置することができました。

	計画 (常勤換算)	年度末現在 (常勤換算)
管理者	1 名	1 名
介護職員	3 名以上	4 名
看護職員	1 名以上	1 名
生活相談員	1 名以上	2 名 (兼務 1 名)
機能訓練指導員	1 名以上	1 名 (兼務)

令和 6 年度の入退職状況は、退職者 1 名 (看護職員 (常勤 1 名)) でした。

5. 各種委員会・職員会議結果評価

概ね事業計画の通り開催する事ができました。

6. 各種研修会結果評価

概ね事業計画の通り実施することができました。今後は外部研修にも積極的に参加していきたいと考えています。

7. その他、運営結果報告

4 月	○通所事業所を新規開設しました。
5 月	○夜間火災を想定した消防訓練を実施しました。又、四国中央消防本部による消防設備等の査察を受けました。(指摘事項はありませんでした。)
8 月	○軽車輛(ダイハツ・タント)が納車されました。 ○軽車輛(ニッサン・N-BOX)が納車されました。
9 月	○電気設備年次点検を行いました。
10 月	○インフルエンザ予防接種(職員)を実施しました。
11 月	○しあわせの家寒川文化祭を開催しました。
12 月	○顧客満足度調査(下半期)を行いました。
1 月	○対象者全ての人事考課が終了しました。
2 月	○来年度より、「DM-study ライト」を導入し、法定研修の受講はオンラインとすることとしました。
3 月	○貯水槽の清掃を実施しました。 ○全国老施協及び県老施協に入会申請を行いました。

居宅介護支援事業所 しあわせの家

令和 6 年度 事業報告書

1. 令和 6 年度の重点取組評価

(1) 組織力の向上

要介護状態または要支援状態にある高齢者の選択により、心身の状況、その置かれている環境等に応じ適切な保健医療サービス及び福祉サービス、施設サービス等多様な事業所との連携により、総合的かつ効果的の介護計画が提供できたと評価しています。

(2) 人材育成教育

東予地方局、四国中央市包括支援センター、在宅医療連携拠点センター及び四国中央市介護支援専門員連絡協議会主催の研修会等へ参加しスキルアップに努めました。また、BCP に関する研修も行い、大規模な災害や感染症が発生した場合の対応策を検討しました。今後も様々な場面に対応できるように専門的な知識の習得の意識を持つよう努めたいと思います。

2. 目標利用者数評価

平均利用者数は、1 ヶ月につき 110 名を目標としておりましたが、令和 6 年度の実績は以下の通りになります。

実績平均 82 名（要介護 57 名、要支援 25 名） 実績外平均 12 名
（実績外対応を加えると、94 名になります。）

目標に達成しなかった要因としては、特養や老健や介護医療院への入所、緩和ケア病棟への入院や永眠が重なり利用人数が減少した事に加え、新規契約するも入院や永眠等実績に結び付かないケースがあったことで、契約数通り、利用に反映できなかった事が考えられます。令和 6 年度の新規契約人数は、要介護 16 名、要支援 7 名、合計 23 名となり、病院からの依頼・居宅へ直接依頼・他居宅からの依頼等となります。契約後の実利用人数は、要介護 13 名、要支援 5 名、合計 18 名、契約終了者は、30 名。※昨年 10 月より特定事業所加算の算定を開始し、収入は増加していますが、年間、平均利用者数の目標に達成できなかった事については、今後も今のペースで、新規契約を行い、契約外対応の方が、サービスを利用開始できるように対応していきたいと思います。また、ホームページや広報誌やブログ等で発信し、居宅の相談窓口を広げ新規の方の獲得ができたと思います。

3. 職員配置結果評価

計画通りに職員の配置を行うことができました。

※令和 6 年 4 月より常勤介護支援専門員 1 名を新規配置しました。

4. 各種委員会・職員会議結果評価

居宅運営会の議題を決めて、毎月計画通り実施できました。

5. 各種研修会結果評価

- ・概ね計画通りに実施出来ました。その他に、今年 10 月より特定事業所加算の算定にあたり、週 1 回居宅内で、困難事例等の研修会を開くようにしました。また、介護支援専門員実務研修における見学実習指導者等研修会にも参加しました。（今年度は、受け入れの依頼はありませんでした。）

6. その他、運営結果報告

4 月	○四国中央市と「要介護認定調査委託契約」、「介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託契約」及び、「四国中央市避難行動要支援者個別避難計画作成業務」について契約締結しました。 ○認知症カフェ（あまなつかフェ）に参加しました。
5 月	○認知症カフェ（みなみカフェ）に参加しました。
6 月	○四国中央市介護支援専門員連絡協議会総会に参加しました。 ○認知症カフェ（あまなつかフェ）に参加しました。
7 月	○四国中央市介護支援専門員連絡協議会「ヤングケアラーとケアマネの役割」の研修会に参加しました。 ○ユニフォームのデザインが新しくなり支給されました。 ○愛媛県介護支援専門員実務研修実習受入協力事業所登録申請し承認されました。 ○介護力強化セミナーにオンラインで参加しました。 ○在宅医療拠点センター主催の合同事例検討会に参加しました。
8 月	○認知症カフェ（あまなつかフェ）に参加しました。 ○特定事業所加算Ⅱ算定に係る届出書類を四国中央市介護保険課管理給付係へ提出し承認されました。
9 月	○四国中央市介護支援専門員連絡協議会研修会「上部消化管疾患の最新治療について」の研修会に参加しました。 ○地域密着型通所介護運営推進会議に参加しました。 ○認知症カフェ（みなみカフェ）に参加しました。
10 月	○BCP 訓練セミナー（福祉用具ドーカイ）にオンラインで参加しました。 ○在宅医療連携拠点センター主催の「家にいたい」を支える在宅医療の研修会に参加しました。 ○ストレスチェックを受検しました。 ○認知症カフェ（あまなつかフェ）に参加しました。
11 月	○R6 年度介護支援専門員実務研修における見学実習指導者等研修会にオンラインで参加しました。 ○認知症カフェ（みなみカフェ）に参加しました。 ○消防訓練に参加しました。 ○インフルエンザ予防接種を受けました。（11 月、12 月）
12 月	○在宅医療連携拠点センター主催の入退院支援職員と介護支援専門員の意見交換会に参加しました。
1 月	○四国中央市介護支援専門員連絡協議会「介護支援専門員に求められるコミュニケーションについて」の研修に参加しました。 ○認知症カフェ（みなみカフェ）に参加しました。
2 月	○BCP 策定後の研修及び訓練に関するオンデマンドセミナーに参加しました。 ○高齢者虐待防止の実践とセミナーについて ZOOM にて学びました。 ○他法人と協働で開催する事例検討会に参加しました。 ○権利擁護の為の意思決定支援研修会に参加しました。 ○認知症カフェ（あまなつかフェ）に参加しました。

3 月	○四国中央市介護支援専門員連絡協議会「障害福祉サービスの利用に向けたケアプランの一元化の際の連携について」の研修会に参加しました。 ○ケアプランデータ連携システムについてYouTubeにて学びました。 ○認知症カフェ（みなみカフェ）に参加しました。 ○HITO 病院主催の地域連携勉強会に参加しました。
-----	---